

陳 情 一 覧 表

陳情 番号	受理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨	送 付 委員会
2	令和8年 1月23日	湖岸緑地のゲート式有料駐車場の利用者を減を助長し、アナウンスメント効果で「有料」と名のつく限りマイカーでの利用者の減少が今後一層著しくなることを適切に見し、ゲートの使用は混雑の日のみとし、閑散日は無料に散戻ること		<p>【陳情の趣旨および理由】</p> <p>本件については湖岸緑地公園の有料化を望む、公園を利用しない県民からの知事への手紙と公園を利用する県民の議会宛て陳情がたくさん出ているようである。肝腎の本件にあまり関心のない大多数の利用者の一部は何も知らずに無料時間内で退出したり、無料駐車場に移動したり、さらに知らない人は「琵琶湖岸は有料化されたから車で行くのはやめた」という話をよく聞く。12月の委員会の報告書によると、車での利用台数は激減している。公園の在り方としての見解を問われた県は「枠外駐車防止、ゴミの減少、データが取れた」と成果を強調しているが、枠外もゴミも有料化された駐車場に利用者が魅力を感じなくなったこと、データは生かせるほど詳細ではないと思う。車のナンバーでは利用者の支払い能力を知ることはできないので予約制キャンプの需要予測には使えない。多くの利用者は無料時間が何時間だから行く行かないを決めるのではなく、有料か無料かで行く場所を大まかに決めるのである。皮肉な話だが、ここ10年の湖岸緑地の魅力は、いつの間にか認められた火気使用の規制の甘さにあると特に京都、大阪から来る人達は口をそろえて言っている。</p> <p>今回のゲートの導入前は「一定の需要コントロールが必要」「一般的な利用であれば朝から夕方までであっても損ねてはならない」と土木交通部長が答弁されたのに、指定管理者の事情で街中の駐車場と同じ料金設定にしてしまった。この時点で需要コントロールは無理だったと思う。昨年の委員会は「キャンプが今後もっと盛んになるから早く方向性を決めろ」「滋賀県民割引はあるのか」など実態とかけ離れた指摘だったり有料化ありきみたいなやり取りをしたりと不安な内容であった。</p> <p>今年の委員会はトイレ整備ができるという有料化の根拠についての県との行き違いから昨年よりも活発に議論がなされているが、県が「無料時間設定をどうするか」などの細かいことを気にするあまり、有料か無料かのアナウンス効果も含めた大きな視点で見えていないので、マイカー利用者の減少に歯止めをかけることはとても難しいと思う。</p> <p>「みんなで負担」という今話題の交通税のパブコメの前ふりとして県民（利用者）の反応を見るという役割は既に果たしたと思う。タイムズには今までの7か月で900万円の委託料分を、最大料金1,000円を宣伝してキャンプ、バーベキュー利用者を中心に払ってもらった。トイレ整備したものの誰も来なくなる前に方向性を変えて、駐車台数が少ない日はゲートを上げてはどうだろうか。議会の方々も引き続き県民の代表として頑張ってもらいたい。「追及はするけど結局は県の言うことを聞く」ということがないように、きちんと話し合ってもらいたい。</p>	文スポ ・土木 ・警察 常任委員会